

科目名	スポーツ自由研究B						年度	2026	
英語科目名	Selective study for sports B						学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース 1年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本スポーツ協会公認テニスコーチ4・日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ1		

【科目の目的】
 紅華祭およびスポーツ・医療カレッジのイベントにおいて、スタッフ等のボランティア活動を行い、主体的にイベント運営に携わることを目的とする。

【科目の概要】
 紅華祭実習参加をはじめ、スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。

【到達目標】
 スポーツ・医療カレッジが、紅華祭のときに担う業務（事前準備を含む）・運営を行います。スポーツ活動・スポーツイベントにおけるボランティア活動（スタッフ実務など）を行います。
 A. イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる
 B. イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる

【授業の注意点】
 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができません。体育祭及び紅華祭は、スポーツカレッジだけではなく、日本工学院八王子専門学校全体の行事です。科目履修としてだけではなく、学内活動の参加として積極的に行動してください。スポーツ活動やスポーツイベントは様々な方と関わりますので、積極的な態度で行動してください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる		イベントの成功に向け、スケジュールを逆算した行動をすることができる		イベントの成功に向け、行動をすることができる
到達目標 B	イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、少しでも主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、指示を受ければ、役割を果たすことができる
到達目標 C					
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】
 配布プリント

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
 積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スポーツ自由研究B			年度	2026
英語表記		Selective study for sports B			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	オリエンテーション	1 イベント内容の確認	イベントの概要を知り、イベント実施内容とスケジュールを確認します	2	
			2 スケジュールの確認			
2	イベントの企画	イベントの企画立案作業	1 企画案の募集	企画の案出し作業をグループワークで行います	2	
3			1 企画案のプレゼン準備	企画案のプレゼン準備をグループワークで行います	2	
4			1 企画案のプレゼン	グループで企画案のプレゼンを行い、コンペ方式で提案します	2	
5			1 企画案の選定と準備計画	採用された企画案の準備計画をグループワークで決定します	2	
6						2
7				2		
8				2		
9	イベントの準備活動	イベントの準備活動	1 イベントの準備活動	準備計画に基づいてイベントの準備活動を実施します	2	
10					2	
11					2	
12					2	
13	イベントの実施	イベントの実施	1 イベントの実施	イベント当日、企画案および準備計画に基づきイベントを実施します	2	
14					2	
15	まとめ	イベントのまとめと振り返り	1 イベントのまとめと振り返り	イベントのまとめと振り返りをグループで行い、反省点を見出し、次のイベントに向けた改善点を洗い出すことができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等